

## 活動記録書

開催日：平成31年3月7日(木) 雨のち曇	開催テーマ：梅と密教4ヶ寺
開催場所：小町・二階堂・十二所	記入者：山腰 策次郎
参加人数： 会員 男 26名 女 5名 計 31名 ビジター 男 0名 女 2名 計 2名 合計 33名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：鎌倉駅東口(集合)～宝戒寺～覚園寺～鎌倉宮（昼食のみ）～杉本寺～明王院（解散）  早春の冷たい雨にもかかわらず、今回訪れた六浦路沿いに位置する密教の古刹4ヶ寺には、梅の花が咲き誇り我々を迎えてくれた。鎌倉幕府跡や旧大仏次郎邸を横目に、細い路地を抜けたその先に最初の訪問先である宝戒寺があった。 宝戒寺の境内はそれほど広くはないが、「ハギ寺」として親しまれていることもあり、四季を通して花を楽しませてくれる。この寺は、鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇が足利尊氏に命じて、北条得宗家の屋敷跡に一族の霊を弔うために建立された。そのためか境内には清楚な白い花が多いといわれている。境内の梅の花を眺めていると、ガイドから梅の花は、雨の日には枝が黒くなり特に冴えて見えると教わった。 次に訪れたのは、この日のハイライトである覚園寺。この寺は谷津の奥まった所にひっそりと佇んでおり、往時の風情を今に伝える数少ない寺である。ここでは鎌倉ガイド協会の鷺さんが作務衣に着替え案内してくれた。まず愛染堂でこの寺の概要、密教との関わりなどの説明を受け境内へ。当寺の中心をなす堂宇の薬師堂には、釈迦三尊像、十二神将像が安置されている。張りのあるたくましい造りの釈迦三尊像には圧倒される思いであった。また、梁牌には、この堂を再興した時、足利尊氏が書いたといわれる貴重な文字が残されており、見所の一つとなっている。たっぷり一時間半の探訪で、十分に堪能することができた。 鎌倉宮太平殿で少し遅い昼食をとった後、次の訪問先杉本寺へ。 杉本寺は、坂東三十三観音霊場第一番札所で、鎌倉幕府が開かれる500年近く前の奈良時代に建てられた、鎌倉で最も古い寺である。本尊の十一面観音立像は三体あり、奥の座敷牢のような所に祀られており、その姿が微かに見える程度であった。この三体は、行基、慈覚大師、恵心僧都の作と伝承されている。また堂内には運慶作と伝承される仏像などが何体もあるが、これほど間近に参拝できる寺は他にあまりないと思われる。 最後に訪れた明王院は、小さいけれども美しい茅葺屋根と趣のある佇まいを残す寺院である。また、手入れの行き届いた庭も印象的である。この寺は、鎌倉時代に政所から見て鬼門にあたるこの地に、鬼門除けの祈願寺として、五大明王が祀られたことに始まる。当時はそれぞれに堂があったことから五大堂と呼ばれていたが、江戸時代に火災にあい不動明王以外すべて焼失した。この不動明王は、たくましく雄大な作風を示し運慶様式を正確に受け継いでいるとされている。毎月28日は「お不動様の日」として護摩法要が行われ、五大明王像（再建）が開扉される。	
参加者の状況・意見など： 雨にも負けず、寒さにも負けず、皆さん最後まで頑張りました。今回訪れた4ヶ寺のうち2ヶ寺は、境内も含め写真撮影が禁止されていたが、これはお釈迦様の説かれる真理は「心の眼で見よ」という密教の教えなのか。それにしても密教は簡単には悟れないものと再認識しました。	
次回の予定： 平成31年4月4日(木) 大船駅東口バス停 10時 テーマ「大船切通しから六国見山へ」	